

第53回育友会支部懇談会

被災地では修学支援相談会

10月末まで

2011年度の「第53回育友会支部懇談会」が、全国の会場で開催されている。今年度、東日本大震災で被害を受けた地域・支部では、従来の支部懇談会の形式に替わり、当該支部の要望に基づき、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島(3会場)、茨城(2会場)の計10会場で開催される。修学支援相談会として8月から10月末まで順次行われる。

全国各地で開催

支部懇談会

「育友会」は2つの大きな役割があります。ひとつは見学会などが行われた。もうひとつは奨学金や奨励賞といった学生支援。



早川和仁会長

神奈川東西支部

神奈川東・西支部懇談会は7月24日、生田キャンパスで開かれ、378人のご父母と大学関係者32人が参加した。就職活動パネルディスカッション、昼食を挟んで午後からは個別面談や学内施設見学会などが行われた。

ご父母378人が参加



関心の高かった就職活動パネルディスカッション

全国各地におられるご父母の方々への情報発信です。中でも最大の情報発信の場が、この支部懇談会です。大学の情報を直接聞ける貴重な機会です。



日高理事長・学長

東京圏合同支部

東京圏合同支部懇談会は8月7日、神田キャンパスで行われ、ご父母256人と大学関係者27人が参加した。

被災した学生の支援にオール専修で取り組む



▲ 教務・就職フリー相談

綾部光庸東京A支部長、早川育友会長のあいさつに続き、日高義博理事長・学長が「東日本大震災で専修大学と石巻専修大学合わせて600人以上の学生が被災しました。これらの学生にも何とか勉強を続けさせ、社会に貢献できる人材を育てたいと、学費減免制度を導入しました。多額の資金が必要となる中、育友会からは多大なご寄付をいただき、本当にありがたき思いです。この機会に、お子さんの様子を聞いていただき、ぜひ行ってみたいと思っております。建物だけでなく、



真剣な面持ちで聞く出席者のみなさん

就職活動の情報収集を目的に参加しました。個人面談で就職を有効に

2度目の参加です。よく娘は、その日の授業で学んだことを弟や妹たちに話してくれました。大学での毎日とても楽しんでいます。

将来は海外とつながる仕事を希望しているようです。最近特に、英語を熱心に勉強しています。今日伺った海外留学や国際交流に関することも、とても参考になりました。

個人面談に応じる金子文学部長

親身になって相談に乗っていただけるので、いつも満足しています。今年は特に就職活動について伺いました。企業研究の大切さや、親がバックアップできる点など、ためになる情報を得ることができました。親にとっても正念場。私も勉強しなければならぬと考えるようになりました。

就職活動に対する支援体制が充実していて、一生懸命に対応していただけたと感じました。親同士の交流もでき、出席して良かったです。

56人と大学関係者27人が参加した。

れからも教職員、学生、育友会の皆様のオール専修で一致団結すれば、この難局も乗り越えられると確信しています」とあいさつした。

活用するようにアドバイザーをいただきました。就職課には足しげく通い、担当の方に意欲を知ってもらい、信頼関係を築くことが大切と伺いました。今日得た情報をすぐに息子に伝えたいと思います。

ら参加すれば良かったと思えました。

日の懇談会で娘のキャンパスライフが具体的にイメージでき、親としてもこちらの大学にお世話になったおかげだと感謝しています。

鳥根支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

就職活動に対する支援体制が充実していて、一生懸命に対応していただけたと感じました。親同士の交流もでき、出席して良かったです。

初澤 光子さん

図書館やコンピュータールーム、食堂といった諸設備も充実していて、素晴らしいキャンパスです。大学生活についての説明では、息子がどんな毎日を送っているのか想像できませんでした。就職活動はまだ先だと思いき、あまり気にし

一人ひとりの親の疑問や不安に応じてくれるので、大変ありがたいと思います。

息子一人暮らしです。息子は会計の仕事に就いたようです。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

就職活動に対する支援体制が充実していて、一生懸命に対応していただけたと感じました。親同士の交流もでき、出席して良かったです。

森 裕美さん

今年初めての参加です。今年は「超氷河期」と聞き、就職活動に関する情報を得たいと思っていました。

生たちのために努力していきます」と激励しました。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

就職活動に対する支援体制が充実していて、一生懸命に対応していただけたと感じました。親同士の交流もでき、出席して良かったです。

鳥取支部

就職活動に対する支援体制が充実していて、一生懸命に対応していただけたと感じました。親同士の交流もでき、出席して良かったです。

岩手支部の修学支援相談会は8月20日、北上市のホテルシティプラザ北上で開かれ、ご父母52人と大学関係者13人が出席した。

館邦雄支部長のあいさつの後、早川育友会長が趣旨を説明。来賓の甘竹秀雄校友会会長は「大震災の困難を乗り越え、ご子女の皆さんが専大で学び、立派な社会人として東北地域、日本全体の方

勉強をされているのか気になっていましたが、個人面談でいろいろな話を聞くことができ、理解が深まりました。特に修学状況通知書の見方を詳しく聞けたことで、大学でさまざまな学問に真剣に取り組んでいる姿がうかがえました。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

鳥取支部

岩手支部の修学支援相談会は8月20日、北上市のホテルシティプラザ北上で開かれ、ご父母52人と大学関係者13人が出席した。

館邦雄支部長のあいさつの後、早川育友会長が趣旨を説明。来賓の甘竹秀雄校友会会長は「大震災の困難を乗り越え、ご子女の皆さんが専大で学び、立派な社会人として東北地域、日本全体の方

勉強をされているのか気になっていましたが、個人面談でいろいろな話を聞くことができ、理解が深まりました。特に修学状況通知書の見方を詳しく聞けたことで、大学でさまざまな学問に真剣に取り組んでいる姿がうかがえました。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

鳥取支部

岩手支部の修学支援相談会は8月20日、北上市のホテルシティプラザ北上で開かれ、ご父母52人と大学関係者13人が出席した。

館邦雄支部長のあいさつの後、早川育友会長が趣旨を説明。来賓の甘竹秀雄校友会会長は「大震災の困難を乗り越え、ご子女の皆さんが専大で学び、立派な社会人として東北地域、日本全体の方

勉強をされているのか気になっていましたが、個人面談でいろいろな話を聞くことができ、理解が深まりました。特に修学状況通知書の見方を詳しく聞けたことで、大学でさまざまな学問に真剣に取り組んでいる姿がうかがえました。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

鳥取支部

岩手支部の修学支援相談会は8月20日、北上市のホテルシティプラザ北上で開かれ、ご父母52人と大学関係者13人が出席した。

館邦雄支部長のあいさつの後、早川育友会長が趣旨を説明。来賓の甘竹秀雄校友会会長は「大震災の困難を乗り越え、ご子女の皆さんが専大で学び、立派な社会人として東北地域、日本全体の方

勉強をされているのか気になっていましたが、個人面談でいろいろな話を聞くことができ、理解が深まりました。特に修学状況通知書の見方を詳しく聞けたことで、大学でさまざまな学問に真剣に取り組んでいる姿がうかがえました。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

鳥取支部

岩手支部の修学支援相談会は8月20日、北上市のホテルシティプラザ北上で開かれ、ご父母52人と大学関係者13人が出席した。

館邦雄支部長のあいさつの後、早川育友会長が趣旨を説明。来賓の甘竹秀雄校友会会長は「大震災の困難を乗り越え、ご子女の皆さんが専大で学び、立派な社会人として東北地域、日本全体の方

勉強をされているのか気になっていましたが、個人面談でいろいろな話を聞くことができ、理解が深まりました。特に修学状況通知書の見方を詳しく聞けたことで、大学でさまざまな学問に真剣に取り組んでいる姿がうかがえました。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

鳥取支部

大学の仕組みや単位取得の方法、成績通知書の見方など、分からないことがあり、今回初めて出席しました。先生方に直接質問することで、疑問がなくなり、安心しました。大学の様子は子どもから聞くばかりでしたが、今回、先生方からお話を伺い、大学に対する理解が深まったと思います。

鳥取支部

修学支援相談会(岩手)



▲ 1年次生ご父母対象のグループ面談

を利用するようにアドバイスしたいと思えます。(商2・男子)

野呂 英樹さん 智子さん

娘とは携帯メールで頻りに連絡を取り合っていますが、就職活動の話はあまり出さず、親の方が少

震災で修学が困難な方も多い現状の中、このような相談会を設けていただき、私たちも含め、参加された父母たちは一様に心強く感じたのではないかと思います。

(文3・女子)